

Title	The political history of England edited by W. Hunt and R.L. Poole
Sub Title	
Author	田中, 萃一郎
Publisher	三田学会
Publication year	1910
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.4, No.6 (1910. 12) ,p.734(130)- 735(131)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	新著紹介
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19101200-0130">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19101200-0130</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

るに至れり、之れ實に最近「ランプレヒト」教授の *Königlich-Saehsische Institut* のよりて生ぜし所以と存候 (Prof. Lamprecht, *historische Methode u. historische akademische Unterrichts u. Diologie* 43 参照) 又た柏林大學の「ブライシヒ」教授の人類史の如き著想は甚だよきも、*Historische* に終るものにあらずやと疑ふ者に候。

之れに反して日本に於ける史學は其研究の方法にして宜しきを得ば、極めて有望なる將來を有するものと存候、若夫れ日本史學の將來に就きては小生多少信ずる處有之、歸來諸君の前に自己の管見を述べて御批評を乞ふ存候。

日本の如き新進の學術國に於て、必要なるものは、戦場の功名者にあらずして、寧ろ戦場の犠牲者に有之候、不肖、生が如きもの既に日露の戦役に於て死す可き身なり、餘命を今日に全ふするは之れ天の賜なり、余は此一事を回想する毎に感慨の念、胸に充つるを覺ゆ、希くは餘命のあらん限り、日本に於ける著實なる史風の犠牲者となり、後援者となりて研究に従事致度存候。

美しき事業の下には常に協力の精神存す、我徒四千の師弟心を一にして、塾長を助け、日本の慶應義塾をして更に世界の慶應義塾たらしめざる可からずと存候。

遠く離れて祖國の現状を觀察すれば、實際の政策に於て、果た理想上の傾向に於て多く論ず可きもの有之候、只だ讀む可き書の多くして、月日の経過し易きこと眞に人生の一大恨事に有之候遙かに諸君の御健康を祈る (十月廿五日柏林にて)

### 新 著 紹 介

*The Political History of England*  
Edited by W. Hunt and R. I. Poole.

九百五年に初めて第十冊を公にしたる本書は去る九月第六冊の發行と共に漸く完結したる。統計十二冊何れも専門史家の筆に成れるものなれば、今後少くも數十年間は英國史のオツソリチーとして推稱さるゝならん、毎冊詳細なる書史を掲げ地圖系圖附表を添え目錄は年表體につくり且索引をも附しあれば参考書としては先づ以て申分なし。否参考書として有益なるのみか、概してリイダブルなれば、英國史に興味を有する人は一部を書齋に備ふ可し、發行書肆ロングマンスグリーン會社は本年中は豫約直段にて發賣す可しとのことなり。本書は或點より見ればケムブリッジ大學同人の事業と目す可き近世史に對する牛津大學出身者の事業とも見做す可く、編輯主任、ハント氏は王立史

學會々長にして曾て牛津に教鞭を執り、レーン、プール氏は同大學に於て古文書學を講じつゝあり尤も第二冊はエールのアダムス教授の筆に成れどその他の寄稿者は殆んど牛津大學に於て史學を修めたるものゝみなりと云ふも不可なし。ハント氏は第十冊を同大學近世史教授オーマン氏は第四冊を著し又、第六冊を起稿せるボラード教授、第七冊を執筆せるモンテীগ教授は、共に余が倫敦なるユニヴァーシティカレッジに於て教を受けたる恩師なるが、何れも牛津大學出なり、ボラード教授にはヘンリ八世之傳、近世史之要素等の傑作ありモンテীগ教授の英國憲法史は簡單にして能くその要を得たり第一冊の著者ホツジキン氏は倫敦なるユニヴァーシティ、カレッジの出身なるが、伊太利入寇史の大作は夙に史學界に名聲を高くし、千六十六年以前の英國史の選述は實にその最も得意とする所なり、第十二冊女王ヴィクトリア治世史の著者シドニー、ロー氏は政論家として世に知られ、スタンダード紙上に數ば健筆を振へり。その筆端

時に保守黨の爲にするが如きの嫌なきにあらねどハーバートポールの近世英國史の自由黨最負の如く甚しからず、マツカーシーの現代史の逸事的なるに満足せざる人にはこのシドニー、ロー氏の書を薦むるを得ん。その他マンチエスター大學のツート教授は第三冊を牛津の講師フィッシャー氏は第五冊をエデンバラのロツジ教授は第八冊を牛津のレダム氏は第九冊を牛津マートンカレッジ院長故ブロードリック氏は第十一冊を著し、リングアード英國史發行以後八十年にして、この英國政治史は完結せり、而して題して政治史と云ふも、宗教、學藝、經濟、社會等に關する事件の發展を等閑視せるにはあらず、唯政治上の現象に重きを置けるのみ。(田中萃一郎)

### 三 田 學 會 記 事

#### 三 田 文 學 會 大 會

三田文學會秋期講演大會は十一月廿四日午後一時より慶應義塾大